

【自己診断シート】

本コンテンツでは資産形成の具体的な手段（金融商品）について学びます。設問1は、預貯金や株式投資を取り上げて、貯蓄や投資についての関心を高めさせます。設問2では金融商品の特徴に触れています。

Aの解説：

「資産形成とは」で学んだ、リスクとリターンについて確認します。高いリターンを望むのであれば、リスクも高くなり、リスクを低く抑えたいのであれば、高いリターンは得られません。

Bの解説：

預貯金、債券、株式などの金融商品の名前を挙げさせるための設問です。

Cの解説：

データはコンテンツ内で紹介しています。日本人の貯蓄率は以前に比べて低下していますが、金融資産の半分以上が現金や預貯金なのは長い間変化しておらず、アメリカの貯蓄構成とはかなり異なっています。

設問2の解答と解説：

〔解答例〕（1）A、（2）B、（3）A、（4）A

本コンテンツの学習前に、金融商品の中から「預貯金と株式」の特徴について、簡単におさらいします。

設問のうち、（3）については普通預金の場合はいつでもお金に換えられますが、定期預金は、すぐに現金を引き出せない場合もあります。

【確認テスト】

〔解答〕 1：C 2：C 3：B

〔解説〕

1：あまり取引されていない会社の株式などは、売却しようとしても買い手がなかなか見つからない場合もありますので、会社（銘柄）選びには注意が必要です。

2：投資信託とは、投資家からの小口のお金をまとめて、運用の専門家（ファンドマネージャー）が複数の株式や債券などに投資し、成果を投資家に分配する仕組みです。投資信託は安全性を重視するもの、収益性を重視するものなど、さまざまな種類があり、全て安全性が高いわけではありません。

3：新聞には公開（上場）している会社の株価が毎日掲載されます。そのほかインターネットの検索サイトでも株価などの情報を得ることができます。